

城辺町誌の発刊を祝う

「ふるさとの訛りを懐しむ」切ない郷愁は、異郷に過ごすすべての人が感じることもある。祖先の歩いた長い歴史が、現代に生きるわれわれの血潮に息吹き、慕郷の愛情を悲しい迄も駆けわたる。

風光明媚、しかも人情細やかなわが故郷において、その感入のものがある。

昭和二七年に縁僧都村と、同三年東外海町と合併し、県下の雄城辺町が発足した十周年を記念する秋、城辺町誌編集の計画を知り、私達は双手をあげて賛同した。

城辺町誌は、本町の自然、歴史及び未来の姿を描いて町勢の変遷、推移等、実にぼう大な資料の集積であり、一言一句に編集者の熱情と辛苦がにじみ出ている。

社会福祉国家を標ぼうし、近代文明の建設に躍進を続ける現代ではあるが、過去においてつちかわれた歴史は、永遠の指標として、われわれの前途を照らすものである。

町誌編集の偉業をなしたげた編集委員をはじめ、協力された各位に深甚の謝意をあらわし、これを契機に、本町が一段と躍進するよう切に期待する。

城辺町誌の意義深い刊行にあたり、お祝いの詞を贈る。

城辺町議会議長

土 居 米 一

目 次

第一編 城辺町の自然

第一章 位置と地形

一、位置と面積

1 位 置

2 面 積 と 人 口

二、地形と地質

1 地 形

2 地 質

第二章 水系と海岸

一、僧都川と蓮乗寺川のうっぴりかわり

1 僧 都 川

2 蓮 乗 寺 川

二、僧都川上流の冷泉

三、海岸とその変遷

七

六

一

二

三

九

七

七

七

五

三

三

三

1 海岸……………14

2 その変遷……………16

第三章 気候と生物……………20

一、気候……………20

二、生物……………24

1 動物……………24

2 植物……………26

三、災害……………30

第二編 城辺町の歴史

第一章 原始・古代……………36

一、渭南海岸と城辺のあけぼの……………36

1 土器のない時代と伊予……………36

2 渭南海岸と城辺……………38

3 じょうもん式文化の時代……………42

4 やよい式文化の時代へ……………46

二、古墳を築いた人びと……………48

1 南予の古墳文化……………48

2 城辺と古墳……………52

3 古墳がつくられなくなったわけ……………56

三、律令制度から荘園時代……………60

1 律令制度になってからの南予……………60

2 荘園の発達と御荘(城辺)……………64

3 源平の盛衰と城辺……………68

第二章 中世……………72

一、鎌倉時代の城辺……………72

1 宇和郡と橋氏……………72

2 西園寺の所領と入国……………76

二、室町・戦国時代の城辺……………80

1 建武の新政のまえ……………80

2 南朝と北朝のころ……………84

3 懐良親王・脇屋義助と御荘……………88

4 勧修寺と御荘……………92

5 応仁の乱の前後と御荘……………96

6	永祿・元亀のころの戦いと御荘	104
	三、安土・桃山時代の城辺	

1	平城より城辺に移城	105
2	渡川の戦い	106
3	勧修寺と長宗我部の戦い	106
4	勧修寺と落城	107
5	豊臣秀吉の四国征伐と南予	107
6	戸田勝隆と南予	107
7	藤堂高虎と南予	107
8	天正・文祿・慶長の検地	107

第三章 近世

一、宇和島藩になるまでの城辺

1	江戸幕府創立と城辺	108
2	伊達秀宗初代宇和島藩主となる	108
3	宇和島藩の歴代藩主	108

二、初代秀宗の時代

1	初代秀宗の入国	109
---	---------	-----

2	宇和島騒動と郷土	109
3	和靈騒動と郷土、緑村	109
4	山崎尚信の知行地「城辺村」	109

三、二代宗利の時代

1	外海浦、深浦の御番所	109
2	土地所有制度の改革と郷土	109
3	緑村におかれた御荘組の代官所	109
4	脇木と予土国境の問題	109
5	幕府の御巡見使と城辺	109
6	郷土の記録書「宇和旧記」出来る	109

四、三代宗賛の時代

1	元祿の高直しと郷土(内拵検地)	109
---	-----------------	-----

五、四代村年の時代

1	享保の大飢きんと郷土	109
---	------------	-----

六、五代村候の時代

1	寛保・宝暦期の藩政改革と郷土	110
2	緑村の梶郷と榎床の記録	110

3	城辺地区と村侯の治政……………	二四
	七、六代村寿の時代……………	二五
1	緑村に起った御手山騒動……………	二六
2	財政の窮乏……………	二六
3	伊能忠敬と城辺の測量……………	二七
4	村寿時代と城辺の記録……………	二八
	八、七代宗紀の時代……………	二九
1	文政・天保期の藩政改革と城辺……………	二九
2	緑村と壘田の陶器製造「御荘焼」……………	三〇
3	宗紀時代の郷土の記録……………	三〇
	九、八代宗城の時代……………	三一
1	宗城の政治と郷土……………	三一
2	新しい時代、黒船の渡来と郷土……………	三二
3	高野長英と久良の砲台場……………	三二
4	幕末における郷土の困学者……………	三三
5	嘉永の大地震と郷土城辺の記録……………	三三
	一〇、九代宗徳の時代……………	三四
	一一、宇和島藩政時代の郷土の庄屋……………	三七
1	幕末における宇和島藩……………	三九
2	長州征伐と郷土城辺……………	三九
1	郷上の庄屋事情……………	四〇
2	城辺村の庄屋……………	四〇
3	外海浦深浦の庄屋……………	四一
4	緑村の庄屋……………	四一
5	僧侶村の庄屋……………	四二
	一二、藩政時代の郷土の庶民生活……………	四四
1	宇和島藩の年貢制度と郷土……………	四四
2	村の身分制度と庄屋……………	四五
3	郷上の庶民生活……………	四五
	一三、藩政時代、郷土の農民一揆……………	四五
	一四、藩政時代の漁村生活……………	五五
1	外海浦深浦の庄屋と漁村の生活……………	五五
2	久良浦の段々畑形成事情……………	五六
3	郷土漁村の「若い衆宿」……………	五六

一五、藩政時代の郷土の産業

- 1 緑村の製紙.....一六五
- 2 製ろう及びろう座.....一六六
- 3 郷土の林業.....一六九
- 4 牛の放牧.....一七一
- 5 郷土の漁業.....一七二
- 6 城辺の池と井手.....一七四

一六、藩政時代、郷土の信仰生活

- 1 久良の能山様と古木庵.....一七五
- 2 郷土の神仏とお講.....一七六
- 3 村の生活と社日講.....一七八
- 4 宗門御改帳と村の生活.....一七九
- 5 崇り神と守り神の信仰.....一八〇

第四章 近代

一、明治維新

- 1 版籍奉還・廢藩置縣と村.....一八六
- 2 明治維新と二宮又兵衛.....一八七

- 3 宇和島設置と村区制.....一八八
- 4 戸長の任務.....一九〇
- 5 戸籍法の制定と混乱.....一九二

二、町村制の実施

- 1 町村行政制度の変遷.....一九三
- 2 町村制の実施.....一九五

三、町村財政の確立

- 1 地租改正の準備.....一九六
- 2 地租改正の実施.....一九八
- 3 地租改正の影響.....一九七

第五章 現代

一、農漁村の疲弊と戦争の激化

- 1 恐慌と郷土.....一九八
- 2 漁村の不況.....一九九
- 3 三化メイト対策と城辺町政.....二〇〇
- 4 旱害と農業用水.....二〇一
- 5 自力更生.....二〇二

二、戦後の城辺町……………1101

1 占領下の城辺……………1102

2 東外海村の町制実施……………1104

3 緑僧都村と城辺町の合併……………1105

4 戦後一〇年の歩み……………1111

三、大城辺町の誕生……………1111

1 城辺町と東外海町の合併……………1111

2 大城辺町としての躍進……………1114

3 城辺の現状と未来への躍動……………1114

第三編 のびゆく城辺町

第一章 町勢の変遷……………1119

一、歴代の町村長と町村政……………1119

1 旧町村時代……………1119

2 新城辺町……………1121

二、町議会の動き……………1124

1 旧町村時代……………1124

2 新城辺町……………1126

三、膨張する財政……………1126

四、行政機構のうつり変わりと庁舎……………1126

第二章 交通々信の発達……………1129

一、陸上の交通……………1130

1 おくれた道路開発……………1130

2 明治以前の陸上交通……………1131

3 明治からの発展……………1131

4 伸びゆく陸上交通……………1131

5 今後の課題……………1132

二、海運の歴史……………1132

1 藩政時代……………1132

2 沿岸航路のあゆみ……………1134

三、電気・通信機関の発達……………1135

1 文明の光……………1135

2 ラジオとテレビ……………1137

3 郵便事業の歴史と現状……………1138

第三章 産業の開発

4	その他の通信施設や機関	三九
一、農 業		
1	農政の変遷	三三
2	土地利用と経営規模	三五
3	栽培技術の近代化と品種の改良	三六
4	柑きつ栽培の振興	三七
5	畜 産	三七
6	農業団体の充実	三九
二、水 産 業		
1	漁業としての形を整える	三九
2	漁業制度のうつり変り	四〇
3	古くから行なわれていた主な漁業	四一
4	期待される漁業	四二
5	悩まされ続けた上予漁業紛争	四三
6	魚市場と漁業協同組合	四三
7	カツオ節で知られる水産加工業	四六

「前沖漁場詳細図」

(付) 宿毛湾入漁問題について

高知・愛媛両県海域における漁業調整参考図

三、林 業

1	最近の林野	四九
2	公 有 林	四九
3	私 有 林	四九
4	木 炭	四九
5	森林組合	四九

四、商工業と金融

1	商 工 業	五〇
2	金 融	五〇

第四章 教育の進展

一、学 校 教 育

1	寺子屋の教育	五一
2	学制と小学校の創立	五一
3	小学校令と小学校の移り変わり	五二

4	戦争と学校教育	五九
5	戦後の学校教育	三三
二、教育委員会		
1	県教育委員会の発足	四四
2	城辺町・東外海町の教育委員会	四四
3	公選制から任命制へ	四七
4	合併後の城辺町教育委員会	四八

三、社会教育		
1	公民館	五一
2	社会教育団体	四六

第五章 民生と保健

一、治安		
1	警察	五四
2	消防	五五

二、民生		
1	社会福祉事業と福祉施設	五九
2	児童福祉	五三

三、保健衛生		
1	伝染病と結核対策	五三
2	環境衛生	五四
3	医療機関	五七
4	法外援護	五六
5	国民健康保険と国民年金	五〇

第四編 民俗と文化遺産

第一章 宗教

一、神社		
------	--	--

1	藩政時代の神社と信仰生活	六一
2	神社の類型と城辺町の神社	六三
3	明治以後の神社と信仰生活	六三
4	現在の城辺町の神社	六六

二、寺院		
1	藩政時代の檀家制度	六一

2	藩政時代の城辺の寺院	152
3	明治以後の仏教	153
4	現在、城辺町の寺院・仏閣	154
第二章 軍 事		
1	軍事制度のうつりかわり	101

二、戦争と城辺町		
1	日清戦争	101
2	日露戦争	101
3	第一次世界大戦	102
4	シベリヤ出兵	102
5	日華事変	102
6	太平洋戦争	104
7	終戦その後	110

第三章 民 俗		
一、まつりと行事		
1	神事的行事	116
2	仏教的行事	116

二、美術・工芸		
1	蓮乗寺の黒仏	117
2	脇木のお菓師様	118
3	緑のつづれ織	118
4	陶器	118
5	住居のうつりかわり	119

三、文 学		
1	短歌	123
2	川柳	123

四、民 俗・芸能		
1	町民気質	125
2	農家の生活	125
3	漁村の生活	126
4	闘牛(つきあい)	126
5	しきたり	126
6	民謡	126

五、伝 説		
		127

1	緑地区の伝説	211
2	城辺地区の伝説	215
3	久良地区の伝説	217
4	中玉地区の伝説	222
5	深浦地区の伝説	222
六、	迷信やことわざ	271
1	迷信	271
2	ことわざ	275
七、	方言	277
1	南宇和方言の位置づけ	277
2	方言(五十音順)	277
八、	地名	277
1	城辺地区の部	277
2	緑地区の部	277
3	僧都地区の部	277
4	東外海地区の部	277
第四章	人物小伝	300

一、	孝子	300
1	孝子 太兵衛	300
二、	学者及び歌人	301
1	岡原 常島	301
2	二神 永世	301
3	小幡 如水	301
4	二神 嘉	301
三、	志士	305
1	二宮 又兵衛	305
四、	実業家及び経世家	305
1	二神 深蔵	303
2	小幡 進一	304
3	二神 駿吉	304
4	尾崎 重厚	304
5	諸家	304
第五章	観光	305
一、	文化財	305

1	国の指定	104
2	県の指定	110
3	町の指定	111
二、観		
1	公園	116
2	名勝・名物	118
3	観光の未来像と問題点	119
三、碑		
1	歌碑	120
2	銅像	121
3	頌徳碑	122
4	記念碑	123
(付) 城辺町年表		
		124

第一編 城辺町の自然